

北区役所の仕事を
大公開！

北区役所の

ちょっとホンネ。



～職員の“声”と“想い”を現場からお届けします～

こんな仕事も
やっています！



区長室
新企画

内容

「北区役所の、ちょっとホンネ。」では、やまだ区長と北区職員が対談。
区役所では一体どんな仕事をしているのかを皆様に紹介し、
現場で働く北区職員の生の声をお届けします。

皆様に
知ってほしい仕事を
ご紹介！

仕事を行う中で、
印象に残っているエピソードや
裏話について

皆様にチェックしてほしい
今後の展開・予定

などなど盛りだくさんでお送りします！



北区役所の ちょっとホンネ。



2025

9

VOL.3

～職員の“声”と“想い”を現場からお届けします～

「北区役所の、ちょっとホンネ。」第3号は「営繕課」です。
今回は、4名の職員にインタビューしました！



しごと

営繕ってなに？

そもそも皆さんにとって「営繕」という言葉は、聞きなじみがないかもしれません。
営繕とは、建物を新築・増築したり、改築・修繕したりすることで、営繕課では、区有施設（小学校・中学校・図書館・区民センター等）の設計や工事の監督を行っています。
皆さんも営繕課が携わった施設を1度は利用したことがあるのではないのでしょうか。
今回は、営繕課の以下4つの係を紹介します！

【技術管理・保全推進担当】

- ・設計や工事を進めるための情報を集め、ルールを作っています。
- ・区有施設が良好な状態でいられるように建物を管理している人達のサポートをしています。

【教育施設担当】

区有施設を建てたり、直したりするときの外観や内装、構造について設計を行い、工事が問題なくできているかを監督しています。

【電気設備担当】

区有施設を建てたり、直したりするときの、照明や、コンセント、情報通信、防犯設備等について設計を行い、工事が問題なくできているかを監督しています。

【機械設備担当】

区有施設を建てたり、直したりするときの、エアコンや換気扇、水回りの設備等について設計を行い、工事が問題なくできているかを監督しています。

営繕課の工事を管理している技術管理・保全推進担当では、工事に関する大量の紙資料や書類の問題に対し、独自のシステムの利用や、情報共有システムの運用の開始等**デジタル化**の取組みを推進しています。

職員A

この係の仕事は、保全も守備範囲であり、区有施設を、毎年職員で回り、劣化状況を確認し、それらを営繕課独自のシステムに登録する業務をしています。

区長

システムの中にはどんな情報が入ってるんですか？

職員A

施設の図面、工事や修繕等の情報を入れています。
また、営繕課で行っている巡回点検での、**劣化状況の写真**や、**設備の状況写真**も入れています。
このシステムは、営繕課の職員だけでなく、区有施設を管理・使用している主管課も見ることができるので、不具合や、予算要求の事前相談の際に情報の整理で活用できます。

区長

すごく分かりやすいですね。

職員A

はい。もう1つは、区有施設数が多いため、工事もちょうど多くなっており、各担当の調整が大変だったり、工事で大量の紙の書類が出てくる問題に対し、今年度、情報共有システムの運用も開始しました。
これにより、工事に関わる大量の書類（工事計画書、安全対策書、使用材料届、試験結果報告書等）を受注者さんにこのシステムにアップロードしていただき、営繕課で確認をし、決裁を取る流れになりました。

職員A

実際にこのシステムにアップロードしていただく書類は、工事の規模によって異なりますが、工事1件あたり**約14,000枚**です。

区長

全てシステムの中に入るんですか？

職員A

入りますね。
なので、受注者さんも書類提出のために来庁する手間は減ってきます。
でも、次の問題として、このシステムは営繕課内のPCでしか見れないので、現場で受注者さんとの打合せには使えないという問題があります。

区長

受注者さんと共有するのが難しいですかね。

職員A

営繕課内では共有できるんですが、営繕課の職員がタブレットを持っていないので、現場に行く場合は、結局これらを印刷して持って行ってます。

区長

途中からアナログになっちゃうってことですね、、、
これから環境整備を、一緒に考えていきたいと思いますので、よろしくお願いします！



教育施設担当

教育施設担当では、学校のリノベーション事業・改築事業を行います。
現在行っている谷端小学校のリノベーションは、小学校を運営しながら工事を行っています。



工事費高騰vs譲れない思い

職員B

我々の仕事は**設計・工事の監督**と、**事業全体のマネジメント**です。
今回リノベーション事業では、学校を運営しながら改修しているので、工事範囲と工期を分けて、かなり複雑な作業をしています。

区長

具体的にはどういった作業をしているんですか？

職員B

学校動線と工事動線の分けを学校と直接話し合い、引っ越し関係を、学校改築施設管理課や学校支援課と調整します。
また、学校施設なので、防災や給食を担当しているそれぞれの部署や学校の中に入っている学童保育さんとスケジュールを共有しながら工事の工程も考えています。
技術的な視点を持ちながら、事業全体を動かさなければいけないところに、難しさ面白さがあると思います。

区長

調整作業大変ですね～
関係者の方からのご要望を、できることととできないことに優先順位をつけて分けなくてはならないって、すごく大変ですね。

職員B

気持ちは本当にわかるのですが、予算の面などで色々と難しい問題もあって、、、

区長

時間とお金とマンパワーとがありますからね。
特にお金の部分は、結構シビアですよ。
今は、資材高騰・物価高騰で諦めなくてはいけない部分も出てきているのではないかなと思うのですが、見た目や機能的にもここは譲れない！という部分はありますか？

職員B

そうですね、図工室の床はちゃんと**強度のあるもの**にしなければならないですし、ここは譲れないので、いろいろなメーカーの製品を比較しながら機能とコストのバランスを考えて材料を選んでいます。

区長

この思いは子どもたちに伝わりますね。

職員B

あと1年程は工事が続きます。子どもたちには、工事中負担をかけてしまいますが、その分徐々に良いものを作って、良い環境で勉強してもらえれば良いと思います。



改修後の図工室（谷端小学校）



実はトレンド把握が必須！？



職員C

最近、電気設備はBCPですとか、環境対策、そしてDXといった場面でその重要性がどんどん高まってきているなと思います。

区長

技術もどんどん新しくなっていると思うのですが、その辺どうですか？

職員C

どんどん新しい基準ですとか、環境対策で求められるレベルが高まっているので、どこで電気使用量を削減できるかを考えます。

LED化は分かりやすいのですが、法改正等ちゃんと勉強していかないと、世間のトレンド的なところについていけなくて、大変だなと思ってますね。

区長

すごい。やっぱり今、環境対策やエネルギー問題はトレンドですね。

勉強を続けながら、仕事に取り組まなければいけないことを感じました。

BCPとは

自然災害等の予期しない危機が発生した際に、重要な業務を継続し、迅速に復旧するための具体的な計画

今求められている環境対策

施設の断熱性能強化や省エネ・再エネ設備の積極的な導入による温室効果ガスの低減、既存樹木の保護、屋上壁面緑化等によるヒートアイランド対策や雨水利用等

内部設計しています！



職員D

営繕課では内部設計（職員が設計）を行うこともあり、機械設備担当でも内部設計をしています。

他の区の技術職の方と懇談していると、結構外部に依頼して設計から工事監理までやってもらっているという話を聞くことが多いので、区民の方のお金を削減できてるというところはすごく強みなのかなと思います。

区長

ありがたい限りです。自前なのか外部に依頼するのか、どこまでできるか迷うところなのかもしれませんが、ここはいけます！という基準はありますか？

職員D

一般的な改修（エアコンや換気扇、水回りの設備）であれば問題なくできるかなと思います。

区長

すごいですね！全体でどのぐらいの割合が自前でできるんですか？

職員D

電気や、建築といった色々な種類が混ざり合ってしまうと、どうしても外部に依頼しないと難しいものもありますが、半分以上はできると思います。



利用者の意図を汲み取る



職員C

電気設備は、あって当たり前のものなので、逆に不足したり無かったりすると、すごく印象に残りやすいです。

区長

本当に電気を取り巻く環境は、特に故障した時の反応が、すごいですよね。

職員C

例えば、柱が邪魔でも、この柱をどかしてくれとは、あまり言われないですね。

でも、コンセントが足りない、スイッチの使い勝手が悪いとかは、すぐ言われてしまうので。

区長

単純に延長コードをたくさん作っても、それを全部使っちゃったら、ブレーカーが落ちてしまうわけですね。それは家の発想と一緒にですね。

職員C

一緒ですね。伸ばして使っても限界はあるので、ちゃんと施設から何に使うかを拾いあげないと、きちんと設計できないですし、保育園などはホットプレートを使ったりすることがあるので、回路を増やすなどを考えます。

区長

使う想定をきちんと把握して、現場の施設の人とコミュニケーションを取らなくてはならないですね。

職員C

利用者の方の意図をこちらから汲み取って設計していくようにしています。

区長

かなりこれは効果額として節約していただいていることを感じます。ありがとうございます。

職員の技術力の高さを感じますね。



こだわりのトイレ

区長

お仕事をされる中で、印象に残ったことはありますか？

職員D

都の北学園を担当させていただき、完成後、地域の住民の方向けに内覧会を開きました。

その内覧会の中で、子どもたちが来年から通うのが楽しみと話している姿がすごく印象に残りました。

区長

いいですね。

都の北学園は学校じゃないみたいですね～！

私はトイレのタイルが特に衝撃的でした！

職員D

3階のメディアセンターのトイレは、すごくこだわっていた部分でもありますね。

区長

子どもたちには、この素敵な環境で、勉強を頑張ってほしいなと願ったことを思い出しました。

子どもたちの夢となる仕事 ✨

職員B

敷地内に校舎を増築する工事で、子どもたちの教室から現場が見えるようになっていました。

校庭が使えないという負担をかけていたのですが、大きく掘って建物の基礎を作り、その上にクレーンで鉄骨を組み上げていく様子に子どもたちは盛り上がっていました。

区長

たまらないですね！

職員B

そこで先生から、「将来はこんな仕事をしたいと言っている子がいたよ」という話を聞いて、建設業に興味持ってくれたことを知りました。

自分の仕事が誰かの目標になるのは、すごく嬉しかったです。

区長

子どもたちの中では、工事現場好きな子も結構いますよね！それが学校の中でやっていたら、子どもたちは嬉しくて仕方ないですね。

勉強しないかもしれないです（笑）

職員B

授業中はカーテン閉められちゃいます！休み時間になったら開けてますね（笑）

区長

やっぱり好きな子たちは気になりますよね！

職員B

窓を見ると、やっぱり何人かへばりついて現場を見ている子がいます（笑）

区長

子どもたちがいながらの作業ってどうかなっていう議論も結構ありましたが、良いところもあったんだなって改めて聞けて嬉しく思いました。ありがとうございます。

採用情報

 技術系職員の採用試験が定員割れしています！ 

23区の技術職の現状

23区では技術系職員の採用者数が採用予定数を下回る状況となっており、北区においても区有施設の施設更新への対応や長寿化への対策等に向け、技術系職員の確保が重要な課題となっています。

☆☆
他の区に比べ、
技術職の採用人数が多く、
様々な部署で経験を
積むことができます！

???
23区の他区に負けない
北区の技術職の魅力はなに？

委託に任せきりにせず、自分
たちで作図したり、施工図の
チェック、申請関係の処理、
消防などとの協議など
なんでもやることです！
これは23区の中でも
珍しいそうです！

技術系職員同士の
団結力があり、
部署を超えて助け合える
仲間ができます！

北区では自前での設計や
工事監督をしていることが
多く、知識や経験をたくさん
積むことができるため、
他区や設計事務所にも負け
ない技術力があります。

営繕課長から皆様へ

我々営繕課は、現在44名で組織していますが、23区でどこにも負けないぐらいの技術力があります。この組織の技術力は先輩方が築いてきてくれたもので、この技術を若い人たちが継承していることが非常に大きいと思っています。これを継承して区民の方に喜ばれる施設づくりを行っていきたく思いますので、皆様ぜひ北区でお待ちしております！

【編集】

北区役所 総務部 区長室

〒114-8508 北区王子本町1-15-22

☎ 03-3908-1111（代表）

!!
皆様の感想
お待ちしております！

